

矢作川水域における各河川の調査結果の概略

1 矢作川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温							
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
矢作川 上流 (1)	AA 類型	上郷大橋		↕			↕	↕			無	石 岩盤		生物A	直 ちに 達 成		
		押山ダム															ダム
		河上瀬橋															
		大川橋								12.6			22.2				
		矢作ダム								15.1			25.5				ダム
矢作川 上流	A 類型	笹戸ダム										ダム		生物B	直 ちに 達 成		
		介木川合流点			×												
		有平橋			×												
		百月ダム											ダム				
		百月発電所			×												
		阿摺ダム											ダム				
		富国橋						14.2	24.0								
		広梅橋			×												
		越戸ダム											ダム				
		平戸橋			×												
		平成記念橋			×												
		明治用水頭首工							16.1	26.6			頭首工				
矢作川 下流	B 類型	葵大橋			×						砂			生物B	直 ちに 達 成		
		岩津天神橋						16.4	27.4								
		乙川合流点			×												
		木戸						16.7	28.5								
		藤井床固											床固				
		米津大橋			×			17.0	30.2								
		中畑橋						17.4	29.2								
		矢作川河口															

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: アマゴ、ニッコウイワナ
 生物B該当種(矢作ダムより上流): オイカワ、ウグイなど、(矢作ダムより下流): コイ、フナ類、オイカワ、ウグイ、スジエビなど
 放流された魚類 生物A該当種: アマゴ、ニジマス
 生物B該当種(矢作ダムより上流): ウナギ、(矢作ダムより下流): コイ、フナ、ウナギ

2 巴川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間				
				生物 A 該当種		生物 B 該当種	生物 A 該当種	生物 B 該当種	平均水温	最高水温										
				ヒアリング	調査結果	調査結果														
巴川	A 類型	界橋			×		↑ 毎年 では ない ↓	↑			無	石 岩 盤			生物 B	直 ち に 達 成				
		恵帽子橋			×															
		羽布ダム																ダム		
		大羽橋																		
		沈下橋			×															
		盛岡発電所			×															
		足助川合流点																		
		白瀬発電所			×															
		細川頭首工												15.1			27.1		頭首工	
		矢作川合流点																		

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物 A・生物 B の魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温：平成 15～19 年度の年平均値の 5 年平均 最高水温：平成 15～19 年度の年最高値の 5 年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物 A 該当種：ニジマス 放流された魚類 生物 A 該当種：アマゴ（時折放流）
 生物 B 該当種：オイカワ、ウグイ、スジエビなど 生物 B 該当種：オイカワ、ウナギなど

3 乙川

水域名	既存類型	地点名	環境基準地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護水面等	河床材料	主な横断構造物	魚道	類型案	達成期間					
				生物A該当種		生物B該当種	生物A該当種	生物B該当種	平均水温	最高水温											
				ヒアリング	調査結果	調査結果															
乙川上流	A類型	前田橋		↕	×	×	↕	↕			無	礫石 岩盤			生物A	直ちに達成					
		聚楽台ビレッジ				×															
		乙川天神橋																			
		麻生橋			×														生物B		
		須淵橋			×																
		友久橋			×																
		男川合流点・築野橋																			
		美保橋																			
		丸山堰																堰			
		大平堰																堰			
岡崎市上水道取入口				×				15.9	27.7												
乙川下流	B類型	日清堰										礫石									
		吹矢橋			×																
		占部用水取入口			×					18.2	29.5										
		乙川頭首工													頭首工						
		矢作川合流点																			

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種：アマゴ
 生物B該当種：コイ、フナ類、オイカワ、ウナギ、ナマズなど
 放流された魚類 生物A該当種：アマゴ
 生物B該当種：ウナギ

4 鹿乗川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
鹿乗川	C類型	県道44号線橋梁			×					無	砂			生物B	直ちに達成	
		東鹿乗川橋			×											
		新幹線橋梁・度合橋			×											
		姫下橋			×											
		居林橋			×											
		米津小橋						17.7	29.0							
		鹿乗川堰										堰				
		矢作川合流点				×										

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: コイ、フナ類、オイカワ、ナマズなど

5 矢作古川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A		生物B	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
矢作古川	C類型	小島橋			×					無	砂礫			生物B	直ちに達成	
		矢作古川橋			×											
		古川頭首工			×			17.6	28.5			頭首工				
		矢作古川河口														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: コイ、フナ類、オイカワ、スジエビ、モクズガニなど

6 介木川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
介木川	A類型	柿平橋		↑ ↓		×	↑ ↓	↑ ↓			無	石 岩盤		生物A	直 ちに 達 成	
		旭橋														
		萬町橋				×										
		万町浄水場取入口								13.3			22.9			
		介木橋														
		小渡新橋			×					13.3			22.9			
		矢作川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果： は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：オイカワ、ドジョウなど	放流された魚類 生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：コイ、フナ、ウナギ
---	--

7 男川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物 A 該当種		生物 B 該当種	生物 A 該当種	生物 B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
男川	A 類型	双瀬橋					↑ ↓			無	石 岩盤			生物 B	直 ちに 達 成	
		淡淵堰堤											堰			
		滝下橋			×											
		南部簡易水道浄水場取入口						14.8	26.0							
		堰											堰			
		床固											床固			
		取水堰											堰			
		生平小学校			×											
		学校橋			×			14.8	25.8							
		乙川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点

水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物 A・生物 B の魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温: 平成 15~19 年度の年平均値の 5 年平均 最高水温: 平成 15~19 年度の年最高値の 5 年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物 B 該当種: フナ類、オイカワ、ウナギなど 放流された魚類 生物 B 該当種: ウナギ

8 雨山川及び乙女川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
雨山川 及び 乙女川 下流	A類型	雨山ダム					↑ ↓			無	石 岩盤	ダム		生物B	直 ちに 達 成	
		栗田橋			×											
		ツノジ橋						14.8	24.7							
		堰堤														
		万足上橋						14.8	25.3							
		男川合流点			×											

凡例)
 地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: オイカワなど 放流された魚類 生物B該当種: ウナギ

9 木瀬川及び犬伏川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
木瀬川 及び 犬伏川 下流	A類型	第2ダム					↑ ↓			無	砂 岩盤	ダム		生物B	直 ちに 達 成	
		木瀬ダム			×											
		前戸橋			×											
		堀越橋						14.9	25.6							
		落合橋			×											
		犬伏橋						14.0	24.7							
		矢作川合流点														

凡例)
 地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 環境基準地点等 : 水質環境基準地点、 : 補助点
 水生生物生息状況 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲
 水温 平均水温: 平成15~19年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成15~19年度の年最高値の5年平均
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など
 魚道 : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: オイカワなど 放流された魚類 生物B該当種: コイ、フナ、ウナギ